

令和6年度第1回周南市立図書館協議会書面開催について（報告）

標記について、協議会委員の皆様より確認書面をご返送いただきましたので、次のとおり報告します。

1 周南市立図書館協議会委員長、副委員長の互選について

承認 1 2 非承認 0

以上の結果となりましたので、事務局案どおり、委員長は渡部明委員、副委員長は石丸敬子委員にお願いします。

2 ご意見、ご要望等について

ご意見等について、以下に記します。

- 本校でも学校図書館指導員さんによるレファレンスが各学年でとても有難い状況です。
- 中央図書館の空調の改修ということで、工事期間中は大変だと思いますが、快適な空間となるのが楽しみです。
- 学校でも本と出会うきっかけ作りにもっともっと盛んに取り組みたいと思います。
- 各図書館の様々な推進活動がすばらしいと感じました。

- 特に活字離れの激しい若者、スマホゲームばかりの子ども達には、じっくりものを考える力が劣化しているとそのことを憂えるばかりです。学校図書館と公共図書館が協力して、継続して本を読む若者の増える環境が築けないだろうか、と考えるばかりです。協議会でも知恵を出し合える機会があればと思います。

- 協議会に参加し、色々な取り組みをされていることがよくわかりました。

- 猛スピードで時代は進み、現在では、中学生がスマートフォンを使いこなす世の中になりました。即情報を得ることはできますが、深みはありません。街の書店も少なくなっている現状を見ると、公共の図書館の役割は大きいと思います。山口子どもの文化研究会でも漸くコロナ禍の中でも学校訪問を復活してきました。学校図書館の司書の先生方の工夫されたディスプレイを思い出します。勿論、公立図書館でも季節ごと、世の中の話題などを取り上げて、見安く展示、紹介されています。各図書館の個性を生かした特色と魅力ある図書館の発展に期待しております。

- 書類一通り目を通しました。いろいろな取り組み初めて知ることも多く勉強になりました。身近なところの気づきを記させていただきます。
各館の取り組みそれぞれの個性がにじみ出ていますね。
陳列で（入口に揃えてあるもの）手に取り読んでおもしろかったものも多々ありました。駅前での写経やヨガのイベントもいいですね。中央館でももっと馴染みやすいイベント

を企画してもらいたいと思います。雑誌の取り扱いは今回の書類で鹿野館や熊毛館など興味あるものもあり予約してみようと思いました。

開館の（表看板）表示はとてもわかりやすくなりました。地下からの入口ドアの大きな音も改善されていて（以前は閉まるときの音に毎回驚かされていました。）安心しました。

返却、貸し出しの時も職員さんがすぐ対応して下さり、とてもスムーズになったと思います。“今返って来た本”という陳列もとても良いと思います。目に触れ、手に取りやすい。

職員さん（司書さんも含め）のおすすめコーナーというのも作られたら？と思います。どんな本読んでみようかな？という時参考になるとと思います。整理整頓がとてもきれいで感心しています。

これからもどうぞよろしくお願いします。

- 読書手帳について詳細を知りたいです。
- 近年子供の貧困化が社会問題になっていて、各地で子ども食堂がどんどんできています。「本の貧困化」はどう克服するかは課題です。受験用の「赤本」や学習用参考書のコーナーを新設し、そして充実させたら役に立つと思います。
- 外国人（留学生含め）読書の進め方。現在、1%市の外国人人口あり、そして若い人が中心です。日本語学校と連携して、図書カードを作ってあげれば、読書の推進にも一役買うと思います。
- 子供読書活動推進計画について
幼稚園や保育所等における推進で、保護者への読書活動の啓発、特に保護者向けの読み聞かせや絵本についての講演会開催について、今後の展望を含めご検討ください。近年開催実績がないと示されております。

その他、誤記等に関するご指摘もいただきました。ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

なお、いただいたご意見について、次回協議会において補足説明をさせていただきます。